

利用ガイド

⑦ だれにでもあるよね、すき・きらい Do you like math? Yes, I do.



POINT: 誰にでもあるよね、すき・きらい

好き嫌いにはその人の個性が表れるものです。友だちが好きな食べ物は？ゲームは？科目は？先生は？友だちの好みをよく知ることは、その人自身をよく知ることです。友だちと共に好きな物が見つかったとき、そこからより深いコミュニケーションが始まります。

関連表現・活動

- ・友だちと好きなもの・嫌いなものを質問し当て見よう。
- ・クラスのみんなに人気のある科目は何か？
→math, Japanese, science, social studies, music, art and crafts, P.E.(physical education)
- ・外国人人が好きな食べ物やスポーツ、音楽などについて調べてみよう。

番組の内容

[スキット1] ジャニカのお茶会

- ・巨大ジャニカがお茶会を開いてくれた。ユージとマイケルは緑茶は好きかな？

- Michael, do you like green tea?
- Yes, I do.
- OK. Here you are.

[TVタイム] 外国の人気がすきな音楽

- ・世界各国の人気が好きな音楽を映像とともに紹介します。
 - (イスの人に) Do you like music?
 - Yes, I do. I like yodel. Swiss people love yodel.

[スキット2] 好きな物ゲーム

- ・みんなの好きな食べ物、スポーツ、科目を質問するゲームをしよう。

- Michael, do you like natto?
- No, I don't.
- Yuji, do you like baseball?
- Yes, I do. I like baseball.

[スキット3] すき・きらいピットイン！

- ・次々に走ってくるマラソンランナーたちの好きな物は？ユージはその人の好きな物を渡すことができるかな？

- Hi, Yuji. I'm a lion.
- Hi. Do you like water?
- No, I like meat.

[ミニ・ユージ] どんなピザがすき？

- ・イタリア人シェフのお店に行って、好きな具を乗せたピザを焼いて食べよう。



番組の視点

子どもたちは遊び好き、と言しながら、どこかで学校の勉強のことを気にしている。好きな物がいつまでも“好き”とは限らない。嫌いな物が好きになるかもしれない。そこで、どの教科が好きなのか話し合いながら、英語を使うことに慣れていてほしい。



子どもが覚えそうな教科名

- Music, Japanese, science, math, P.E., art and crafts, social studies
教科ではないけれど、Englishそしてlunch time
- Of course, I like lunch time!



子どもが好きそうなスポーツの言い方

- Soccer(football), baseball, basketball, ping-pong, tennis, dodge ball, rugby, swimming, skating, skiing, judo, kendo, sumo
- 子どもが言ってみたいこと、友だちに聞いてみたいことを中心に練習する。
- Do you like soccer? Yes, I do.
- Do you like baseball? No, I don't.
- Can you swim? Yes, I can.
- Can you skate? No, I can't.



好きな食べ物

Hamburger, hot dog, curry and rice, ham, omelet, spaghetti, sausage, pizza, fried chicken, beefsteak, salad, sandwich, ice cream, chocolate, cookies, doughnut, cake, popcorn, potato chips, candy, jam, butter, cheese, milk, yoghurt, jelly, tomato, sweet potato, cabbage, carrot, onion, pumpkin, lettuce, watermelon, kiwi, grapes, strawberry, cherry など。

スーパー・マーケットの棚に並んでいる食品は、外来語を使って表示してあるものが多く、子どもたちはたくさんの食べ物を英語で言える。これを使って応用練習すると、子どもたちは自信を持って英語を使うようになる。



考え方

数字をただ唱えるのではなく、教室にあるもの、子どもが身につけている物（ボタン、ポケット、衣類の模様など）、子どもたちの持ち物（えんぴつ、教科書などの本）のように具体的な物を数える。



簡単な足し算、引き算

- $1+2=3$ one plus two is three.
- $3-2=1$ three minus two is one

算数にしては易しすぎるけれども、英語の聞き取りも兼ねて計算問題をやると、いつもは英語の授業に乗ってこない子どもが、突然元気良くなることがある。数字の操作が得意な子どもの出番である。

- Five plus four is…? Nine!
- Eight minus two is…? Six!



活動例「買い物ゲーム」

- (1)まず、コインをいくつ持っているかを聞き取らせる。
5 one-yen coins, and 3 ten-yen coins, and 4 fifty-yen coins.
- (2)子どもたちに合計いくらかを計算させる。
How much do I have? …,235 yen!
- (3)身の回りの品のセダンを決めておき、今度は何が買えるのか考えさせる。



活動例「I like ゲーム」

- (1)クラスをA,Bの二つのグループに分けて、まずAグループ全員に、“I like tennis.” のように好きな スポーツや食べ物などを言わせる。
- (2)Bグループに、“You like tennis.” と覚えているものを、順番に当てさせていく。
- (3)次に、A,Bを交代してゲームを続ける。

